

多様性を認め合う ダイバーシティ社会って 何だろう？

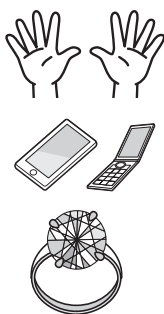
私たちのまちには、子ども、大人、高齢者、男性・女性、外国人、心の性を尊重している方、障がいをもつ方など、いろいろな人が暮らしています。今回の特集では、多様な人が暮らすこのまちで、みんなが幸せに暮らすためにどんなことが必要なのかを一緒に考えていきます。まずは、ダイバーシティ社会という言葉と考え方から、知っていきましょう。

ダイバーシティ社会とは

ダイバーシティは「多様性」を意味する言葉。ダイバーシティ社会は、年齢や性別、国籍や障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、個々の能力を発揮できる社会のことです。夏に行われた東京オリンピック・パラリンピックでは、多様な人々がもつエネルギーや可能性を感じた方も多いのではないのでしょうか。人口減少や少子高齢化、グローバル化など、社会情勢が変化する中で、持続可能な地域社会を作るためには、誰もが活躍でき、多様性が享受される社会の実現が求められています。

人と違うって特別なこと？

1. 右利きですか？左利きですか？
2. スマートフォンとフィーチャーフォン（ガラケー）、どっちを使っていますか？
3. 結婚するのが当たり前と思っていますか、そうではないですか？



違いがあるって特別じゃないんです。

人それぞれ、できること・できないこと、感じ方も多種多様です。差別をなくそう、平等にしようと考え、人との違いを見ないようにと考えてしまいそうですが、違いがあることを理解したうえで、“他の人の視点に立ったらこの社会はどう見えるんだろう”と想像することが、多様性を尊重し、お互いの違いや価値観を認め合うことの第一歩になります。

ダイバーシティ社会を目指して

茨城県では、ダイバーシティ社会の実現を目指し、県内の企業や団体、県民が広くダイバーシティの考えを共有するため、それぞれの実情に応じた取り組みをすすめる「いばらきダイバーシティ宣言」を定めました。

笠間市も「いばらきダイバーシティ宣言」の趣旨に賛同し、ダイバーシティ社会の実現のため、取り組むべき3つの方針を宣言として登録しました。

※県内宣言団体：63団体（令和3年10月1日現在）

笠間市の宣言内容

取組方針

1

市民のダイバーシティ意識の醸成

年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、それぞれがもつ個性やその人らしさを発揮し、市民相互の理解のもと誰もが暮らしやすく、また活躍できる市をめざします。

取組方針

2

生活環境・職場環境の整備

それぞれがもつ価値観や能力、ライフスタイルなどの違いを認め合い、多様な働き方を促進するとともに、仕事と生活のバランスに配慮した働きやすい環境整備をすすめます。また、すべての人のためのデザイン「ユニバーサルデザイン※」に配慮したまちづくりの推進により、誰もが生活しやすい環境を整えます。

取組方針

3

広い視野、 多様な価値感を持つ人の育成

多様性を生かした地域づくりに向けた意識啓発をすすめるとともに、広い視野をもち、新たな価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ笠間の実現をめざします。

※ユニバーサルデザインとは

「ユニバーサルデザイン」は、「みんなにやさしいデザイン」のことをいいます。年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会となるよう、まちや建物、ものなどを設計（デザイン）するという考え方です。環境だけでなく、人との接し方にもこの考えを取り入れた、「ユニバーサルマナー」（自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する“こころづかい”）という言葉も広がってきています。

ダイバーシティ社会 の実現



車いすでも遊べる遊具（笠間中央公園）

市内にある
ユニバーサルデザイン



誤えんしにくいコップ（笠間焼）



みんなのトイレ（道の駅かさま）

県では「いばらきダイバーシティ宣言」の趣旨に賛同する企業や団体を募集しています。宣言に興味のある団体等の方は、ぜひお問い合わせください。

問い合わせ先

茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」
TEL 029-233-3982



新しい生き方・働き方・考え方で、 男女ともに幸せに生きられる社会へ

「男は仕事」「女は家庭」といった固定的役割分担意識にとらわれず、それぞれの個性と能力を発揮できる社会づくりが求められています。新型コロナウイルス感染症の影響で、リモートワークなどが広がってきましたが、一方で家庭内での女性の負担が増えたという声もあります。

11月は男女共同参画推進月間、11月11日はいいパートナーの日です。あなたとあなたの大切な人が、望む生き方・働き方を実現するために必要なことは何か、見つめ直すきっかけにしましょう。

ジェンダーギャップ指数2021

 **120**位 / 156カ国

経済 **117**位 政治 **147**位 教育 **92**位 医療 **65**位

笠間市の 現状

市審議会等委員の女性率

32.6%

(令和3年4月1日現在)

男性の育休取得率

8.3%

(令和2年度)

日本は、まだまだ性別(ジェンダー)による扱いの差(ギャップ)が大きいと言われています。特に経済や政治においての差が大きく、働く環境をもっと整えていく必要があります。

仕事に関する 相談先等

ハローワーク笠間

TEL0296-72-0252

ハローワーク水戸

お子さま連れでも安心の
「マザーズコーナー」や
「人材確保対策コーナー」あり

[ハローワーク水戸]

TEL029-231-6221

[マザーズコーナー]

TEL029-231-2050

女性応援 ポータルサイト

(内閣府男女共同参画局)



仕事と育児の カムバック 支援サイト

(厚生労働省)



女性の活躍、 両立支援 総合サイト

(厚生労働省)



その他、市では子育てや福祉に関する相談をウェブ予約で受け付けています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



男性の育休取得や子連れ出勤など、働き方や子育てが多様になるなかで、自分らしい生き方に対する関心が高まりつつあります。市では、社会に出る前から、自分の生き方について考えてもらおうと、高校生向けにライフデザイン講座などを実施しています。



キラリかさま優良企業



多様な生き方が広がるなかで、行政や企業も変化が求められています。
市では、男女共同の考え方に賛同し、女性が働きやすい環境を整えている企業を「キラリかさま優良企業」として認定しています。

(有)小池工務店



業務内容 道路・橋・河川の工事など

- 女性のキャリアアップのための研修や資格取得の支援
- 働きやすい職場づくりのため、全体ミーティングを実施
- 子どもファースト(子どもの行事や体調を優先させる)
- ノー残業デーの実施

フジフーズ(株)水戸工場



業務内容 コンビニ弁当の製造など

- 子育てしながら働きやすい勤務時間の増設
- 親子料理教室の開催など子育て世代の交流促進
- 子育て支援金の支給
- 年次有給休暇の取得促進

(株)ベストケアーズテクモア



業務内容 介護・福祉施設の運営など

- 女性のキャリアアップのための研修や資格取得に対する支援
- 育児などによる退職者についての再雇用特別措置
- 希望に沿った年次有給休暇の取得促進
- 子連れ出勤の導入

(株)カモスフィールド



業務内容 オーガニック野菜の栽培など

- 女性管理職の登用
- 年次有給休暇の取得促進
- 子どもの職場見学

市では引き続き
認定企業を
募集しています

あなたの会社も認定を受けてみませんか？
詳細は市ホームページをご覧ください。

認定企業にはシンボルマークの使用や入札参加資格審査において優遇するなどのメリットがあります。



さいごに

今回の特集では、「ダイバーシティ」など聞き慣れない言葉がたくさんあったかもしれません。知らないことには最初は抵抗があると思いますが、知ってみると少し世界が広がって、少し身近なことを感じられるようになってきたのではないのでしょうか。人との違いや考え方も、知ろうとすることから、ちょっとずつ変わっていくと思います。

一人ひとりが社会を支える仲間です。互いに認め合い、思いやるなど、小さなことからで良いので行動につなげていきましょう。

問 秘書課(内線224)